

調査の概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職
調査時期	令和3年9月16日 ～ 令和3年9月30日
調査方法	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収
回収状況	配布数 : 386名 回収数 : 132名 回収率 : 34.2%

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

- 性別は、「女性」98.5%、「男性」1.5%であった。
- 年齢は、「40代」が31.1%と最も多く、次いで「50代」25.8%、「30代」22.0%の順であった。
- 居住地区は、「千葉地区」23.5%が最も多く、次いで同率で「東葛地区」「船橋地区」13.6%の順であった。
- ブランク期間は、「0～3年」の72.0%が最も多く、次いで「11年以上」12.1%、「6～10年」6.8%、「4～5年」4.5%の順であった。

2. 離職時の職種、雇用形態、勤務形態

- 離職時の職種は、「看護師」が最も多く86.2%、次いで同率で「助産師」「准看護師」5.2%、「保健師」3.4%の順であった。
- 離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く65.4%、次いで「非常勤職員」29.5%、「派遣」0.8%の順であった。
- 離職時の勤務形態は「日勤のみ」が最も多く53.8%、次いで「二交代制」26.6%、「三交代制」が12.1%、「短時間勤務」8.3%の順であった。

3. 看護業務の通算勤務年数、離職直前の施設での勤務年数

- 看護業務の通算勤務年数は、「20年以上」が最も多く28.0%、次いで「7年～9年」18.9%、「10年～14年」16.7%、「4年～6年」12.9%の順であった。
- 離職直前の施設での勤務年数は、「1～3年」が最も多く36.4%、次いで「7～9年」17.4%、「4年～6年」14.4%の順であった。

4. 離職理由

- 離職理由は、「出産育児子供のため」が最も多く23.5%、次いで「人間関係」21.2%、「健康上の理由」18.2%であった。

5. 人間関係が難しかった相手

○離職理由で「人間関係」を選択した人に人間関係が難しかった相手を尋ねると、同率で「師長等中間管理職」「医師」35.7%、次いで「先輩」32.1%、同率で「同僚」「看護管理者」28.6%であった。

6. 「看護内容への不満」の具体的理由

○離職理由を「看護内容への不満」と回答した具体的理由は、「看護業務以外の仕事が多い」80.0%が最も多かった。

7. 就業条件

○就業条件は、「休みがとりやすい」が最も多く48.5%、次いで「通勤に便利な職場」45.5%、「柔軟な勤務形態の導入」33.3%、「超過勤務が少ない」22.0%の順であった。

令和3年度 看護職の定着確保動向調査結果の概要 — 求職者対象 —

I. 調査概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職
調査時期	令和3年9月16日 ~ 令和3年9月30日
調査方法	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収
回収状況	配布数 : 386 名 回収数 : 132 名 回答率 : 34.2%

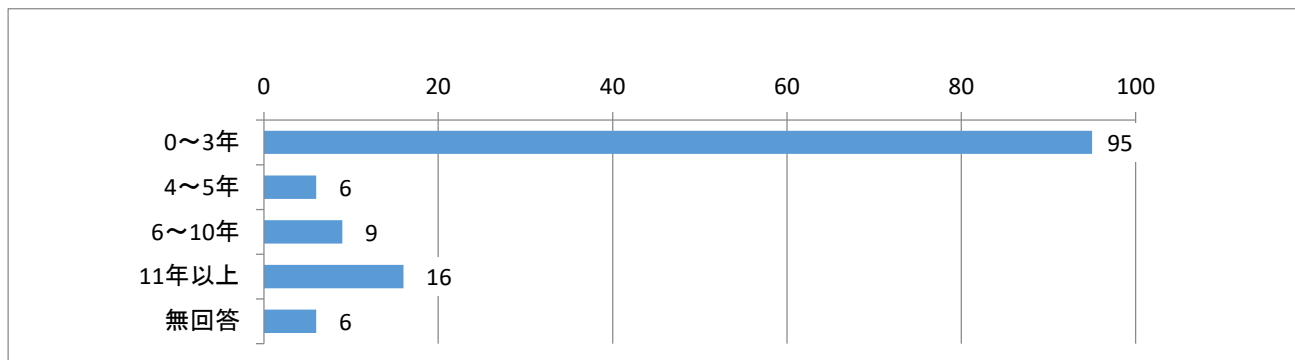
II. 調査結果

問1 ブランク期間

ブランク期間は、「0～3年」の72.0%が最も多く、次いで「11年以上」12.1%、「6～10年」6.8%、「4～5年」4.5%の順であった。

<表1> ブランク期間 (n=132)

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
95	6	9	16	6
72.0%	4.5%	6.8%	12.1%	2.6%



問2 住所

居住地区は、「千葉地区」23.5%が最も多く、次いで同率で「東葛地区」「船橋地区」13.6%の順であった。

<表2> 住所 (n=132)

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛
31	9	18	10	13	18
23.5%	6.8%	13.6%	7.6%	9.8%	13.6%

印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
13	1	4	2	9	1	0	3
9.8%	0.8%	3.0%	1.5%	6.8%	0.8%	0.0%	2.3%

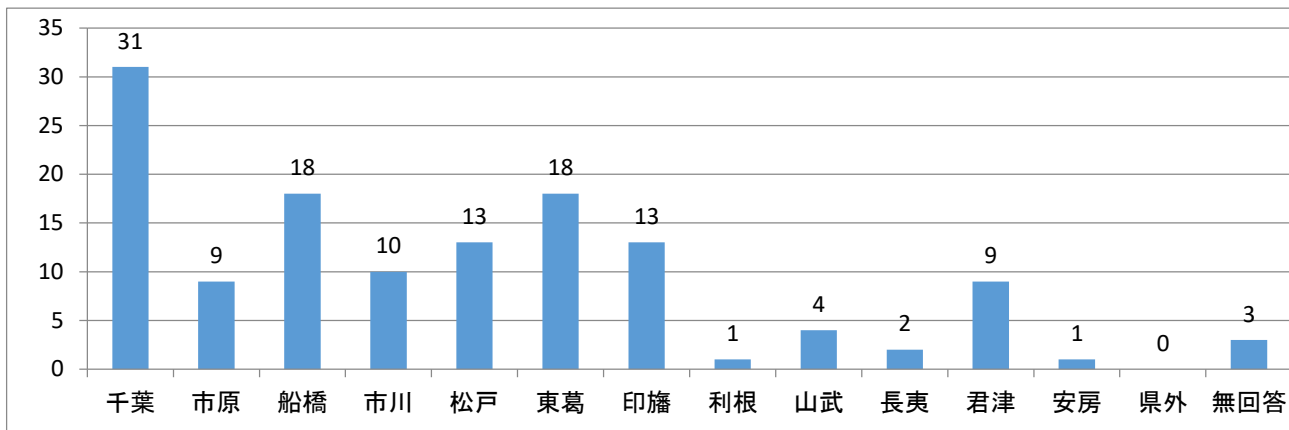


図2 回答者 居住区

問3 年齢

年齢は、「40代」が31.1%と最も多く、次いで「50代」25.8%、「30代」22.0%の順であった。

<表3> 年齢 (n=132)

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
0	16	29	41	34	12	0
0.0%	12.1%	22.0%	31.1%	25.8%	10.6%	0.0%

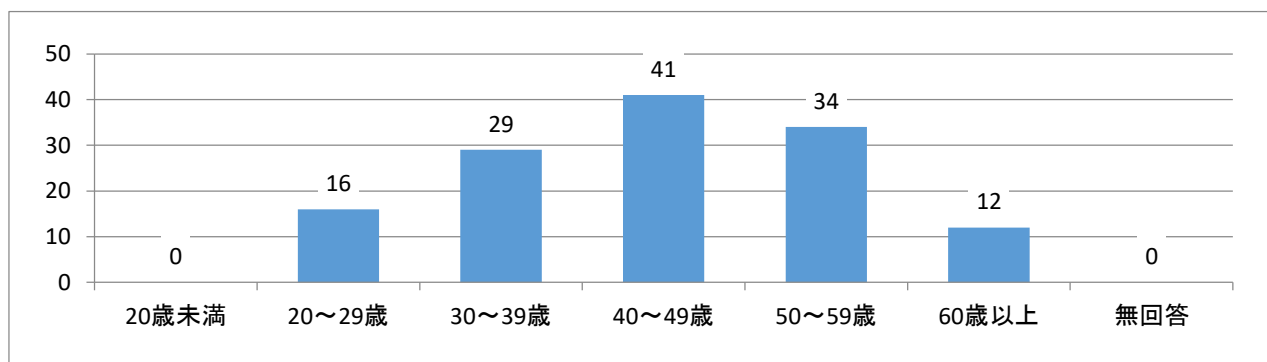


図3 年齢

問4 性別

性別は、「女」98.5%、「男」1.5%であった。

<表4> 性別 (n=132)

女	男	無回答
130	2	0
98.5%	1.5%	0.0%

問5 離職時の職種

離職時の職種は、「看護師」が最も多く86.2%、次いで同率で「助産師」「准看護師」5.2%、「保健師」3.4%の順であった。

<表5> 離職時の職種 (n=132)

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
4	6	100	6	0
3.4%	5.2%	86.2%	5.2%	0.0%

問6 離職時の雇用形態

離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く65.4%、次いで「非常勤職員」29.5%、「派遣」0.8%の順であった。

<表6> 離職時の雇用形態 (n=132)

正規職員	非常勤職員	派遣	無回答
91	39	1	1
65.4%	29.5%	0.8%	0.8%

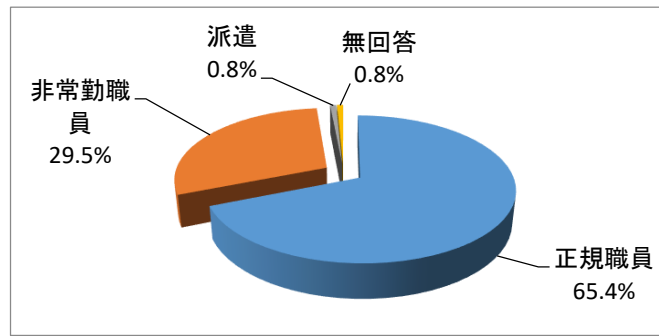


図4 離職時の雇用形態

問7 離職時の勤務形態

離職時の勤務形態は「日勤のみ」が最も多く53.8%、次いで「二交代制」26.6%、「三交代制」が12.1%、「短時間勤務」8.3%の順であった。

<表7> 離職時の勤務形態 (n=132)

日勤のみ	三交代制	二交代制	短時間勤務	夜勤のみ	無回答
71	16	33	11	0	1
53.8%	12.1%	26.6%	8.3%	0.0%	0.8%

問8 看護業務の通算勤務年数

看護業務の通算勤務年数は、「20年以上」が最も多く28.0%、次いで「7年～9年」18.9%、「10年～14年」16.7%、「4年～6年」12.9%の順であった。

<表8> 看護業務の通算勤務年数 (n=132)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
2	11	17	25	22	15	37	3
1.5%	8.3%	12.9%	18.9%	16.7%	11.4%	28.0%	2.3%

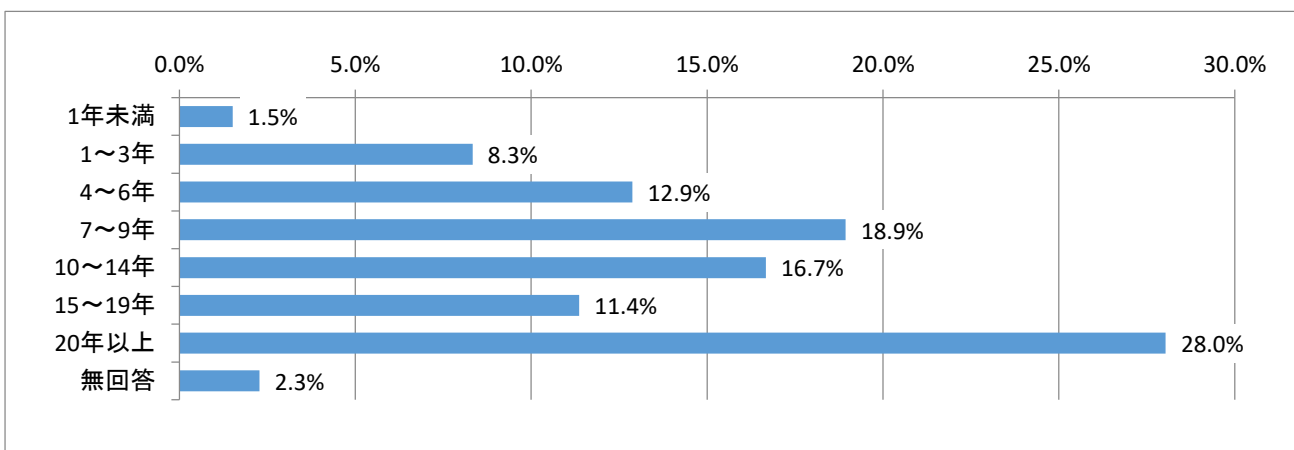


図5 通算勤務年数

問9 離職直前の施設での勤務年数

離職直前の施設での勤務年数は、「1～3年」が最も多く36.4%、次いで「7～9年」17.4%、「4年～6年」14.4%の順であった。

<表9> 離職直前の施設での勤務年数 (n=132)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答

16	48	19	23	11	8	5	2
12.1%	36.4%	14.4%	17.4%	8.3%	6.1%	3.8%	1.5%

問10 離職理由

離職理由は、「出産育児子供のため」が最も多く23.5%、次いで「人間関係」21.2%、「健康上の理由」18.2%であった。

<表10> 離職理由(複数回答・3つまで) (n=132)

定年退職	契約期間満了	結婚	出産育児子供のため	配偶者の転勤	老親の世話家族の介護	家事と両立しない	健康上の理由	自分の適正能力への不安	Uターンのため
5	4	15	31	12	10	7	24	14	0
3.8%	3.0%	11.4%	23.5%	9.1%	7.6%	5.3%	18.2%	10.6%	0.0%

通勤困難	転居	他分野への興味	進学	看護職に向いていない	人間関係	看護内容への不満	継続教育がない	賃金への不満	労働時間への不満
9	12	10	2	1	28	15	4	8	5
6.8%	9.1%	7.6%	1.5%	0.8%	21.2%	11.4%	3.0%	6.1%	3.8%

夜勤回数が多い	残業量が多い	福利厚生が十分でない	休みが取れない	その他	無回答	<その他> ○契約時の業務内容との相違 ○コロナ渦が誘因 ○ハラスメント ○配偶者の体調不良
8	6	3	4	26	3	
6.1%	4.5%	2.3%	3.0%	19.7%	2.3%	

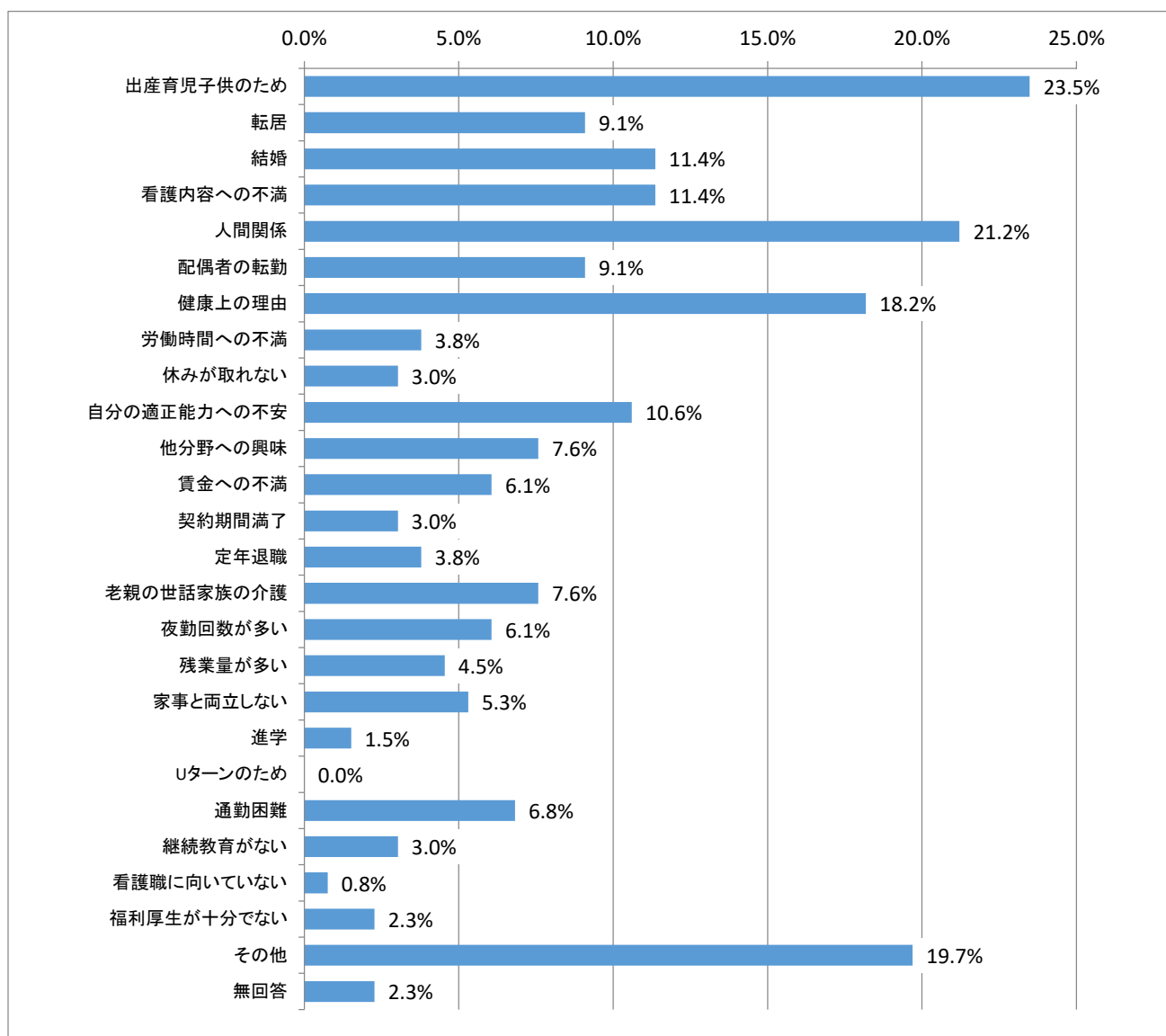


図6 離職理由

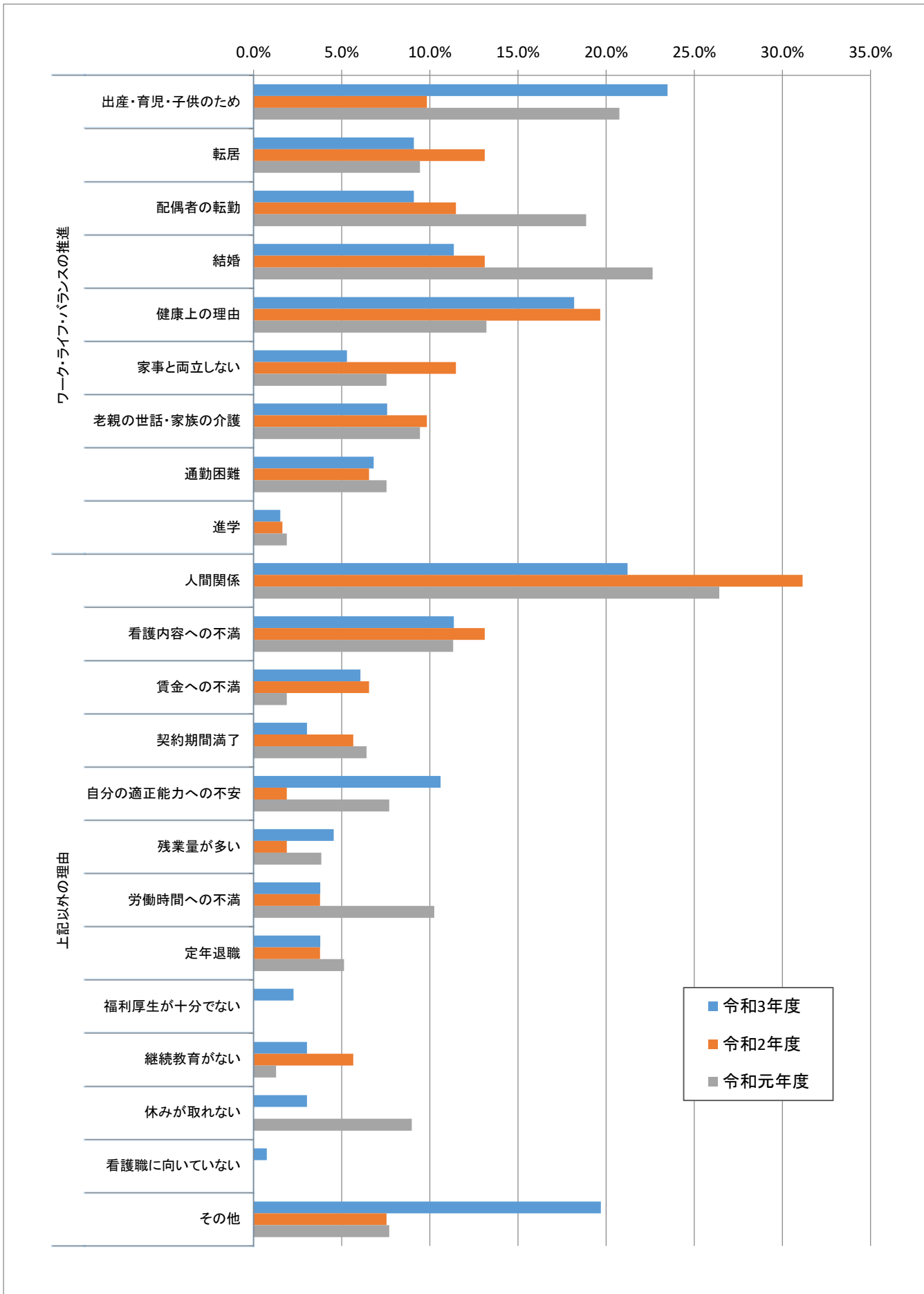


図7 離職理由(3年推移)

問11 人間関係が難しかった相手（問10で選択）

人間関係が難しかった相手を尋ねると、同率で「師長等中間管理職」「医師」35.7%、次いで「先輩」32.1%、同率で「同僚」「看護管理者」28.6%であった。

<表11> 人間関係が難しかった相手（複数回答） (n=28)

先輩	同僚	師長等中間管理職	看護管理者	医師	他の専門職	一般職員	患者	患者の家族	その他
9	8	10	8	10	1	1	2	0	3
32.1%	28.6%	35.7%	28.6%	35.7%	3.6%	3.6%	7.1%	0.0%	10.7%

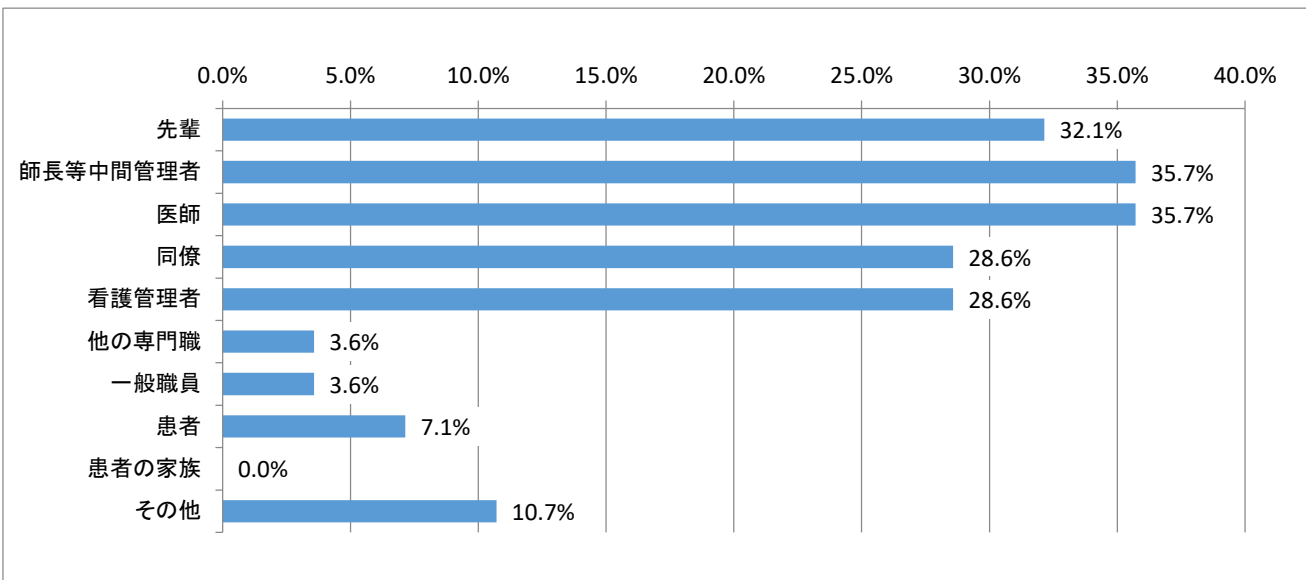


図8 人間関係が難しかった相手

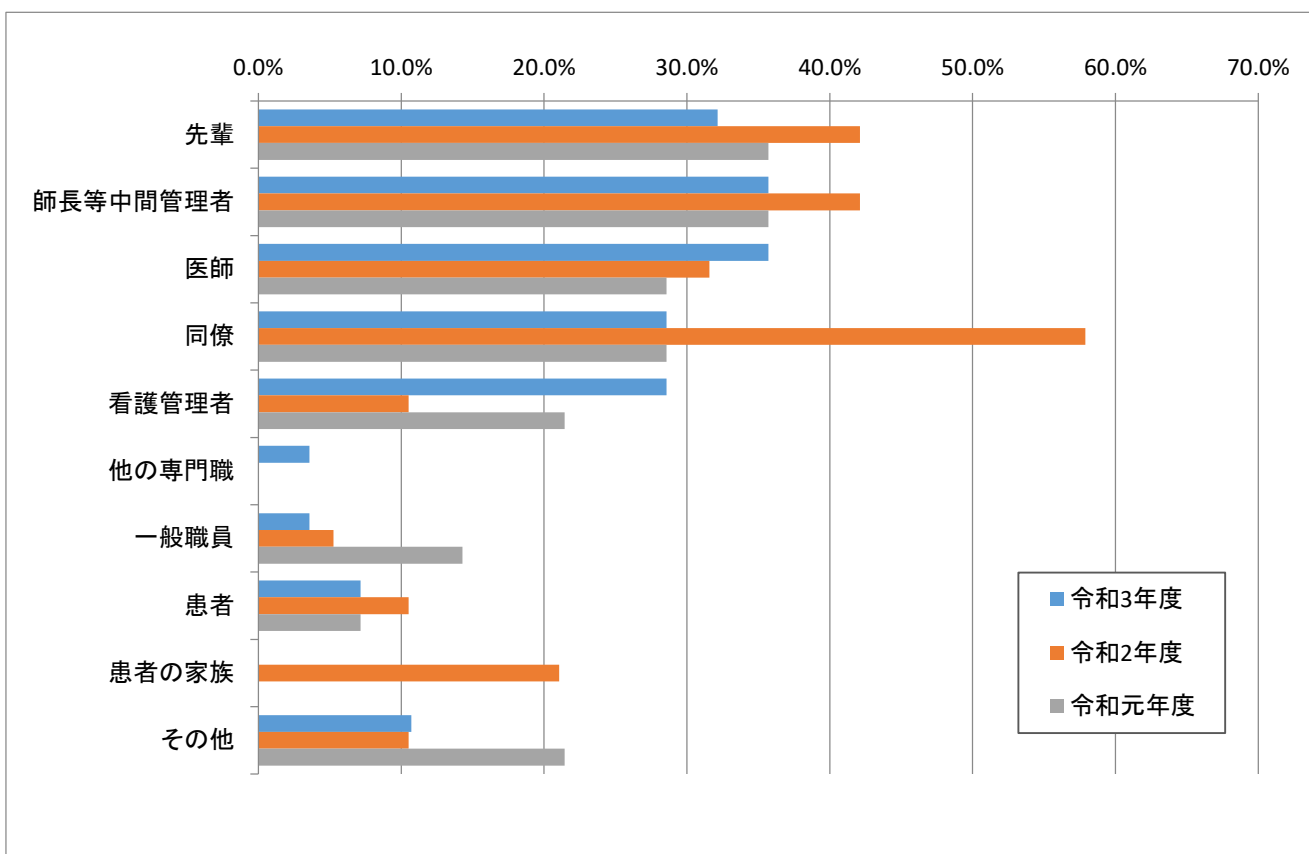


図9 人間関係が難しかった相手(3年推移)

問12 「看護内容への不満」の具体的理由（問10で選択）

離職理由を「看護内容への不満」と回答した具体的理由は、「看護業務以外の仕事が多い」80.0%が最も多かった。

<表12> 「看護内容への不満」の具体的理由(複数回答)

看護業務以外の仕事が多い	医療処置が多い	患者とのコミュニケーションに時間が取れない	その他	無回答
12	0	7	6	0
80.0%	0.0%	46.7%	40.0%	0.0%

(n=15)

その他
初めてのことも最初から一人でやる
閉鎖的な空間

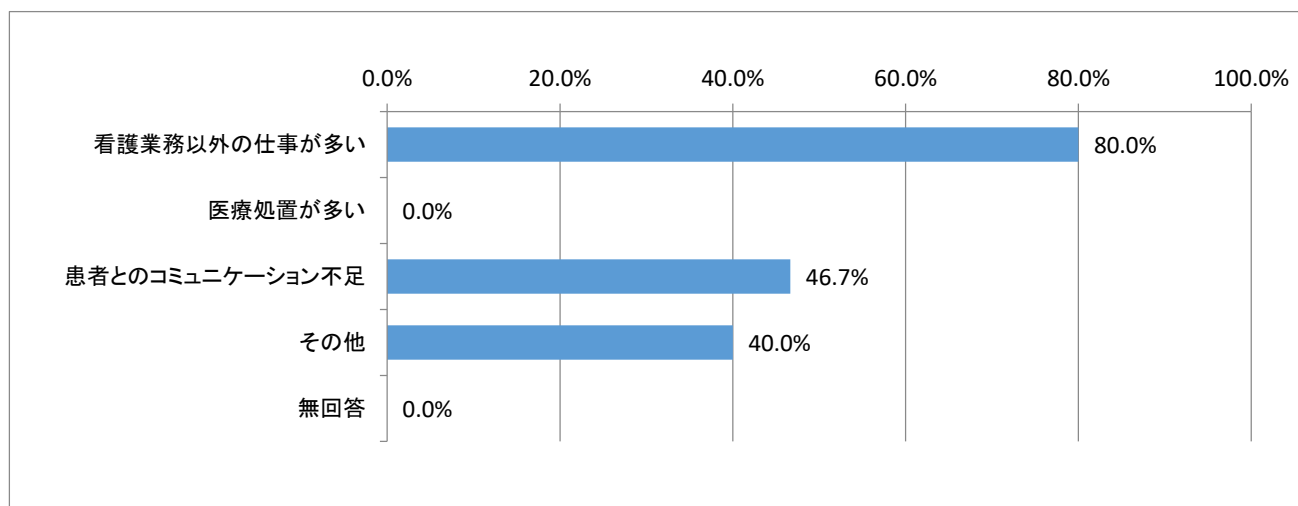


図10 看護内容への不満

問13 就業条件

就業条件は、「休みがとりやすい」が最も多く48.5%、次いで「通勤に便利な職場」45.5%、「柔軟な勤務形態の導入」33.3%、「超過勤務が少ない」22.0%の順であった。

<表17> 就業条件(複数回答・主な要件3つまで)

保育所がある(夜間保育含む)	育児制度が利用できる	介護休暇がとれる	休みがとりやすい	超過勤務が少ない	夜勤回数が少ない	夜勤がない	柔軟な勤務形態の導入	自分の希望する給与	通勤に便利な職場
21	11	7	64	29	8	26	44	26	60
15.9%	8.3%	5.3%	48.5%	22.0%	6.1%	19.7%	33.3%	19.7%	45.5%

(n=132)

看護内容が充実している	自分の能力が活かせる	継続教育が充実している	希望する看護領域である	資格取得支援がある	無回答
12	24	14	27	4	3
9.1%	18.2%	10.6%	20.5%	3.0%	2.3%

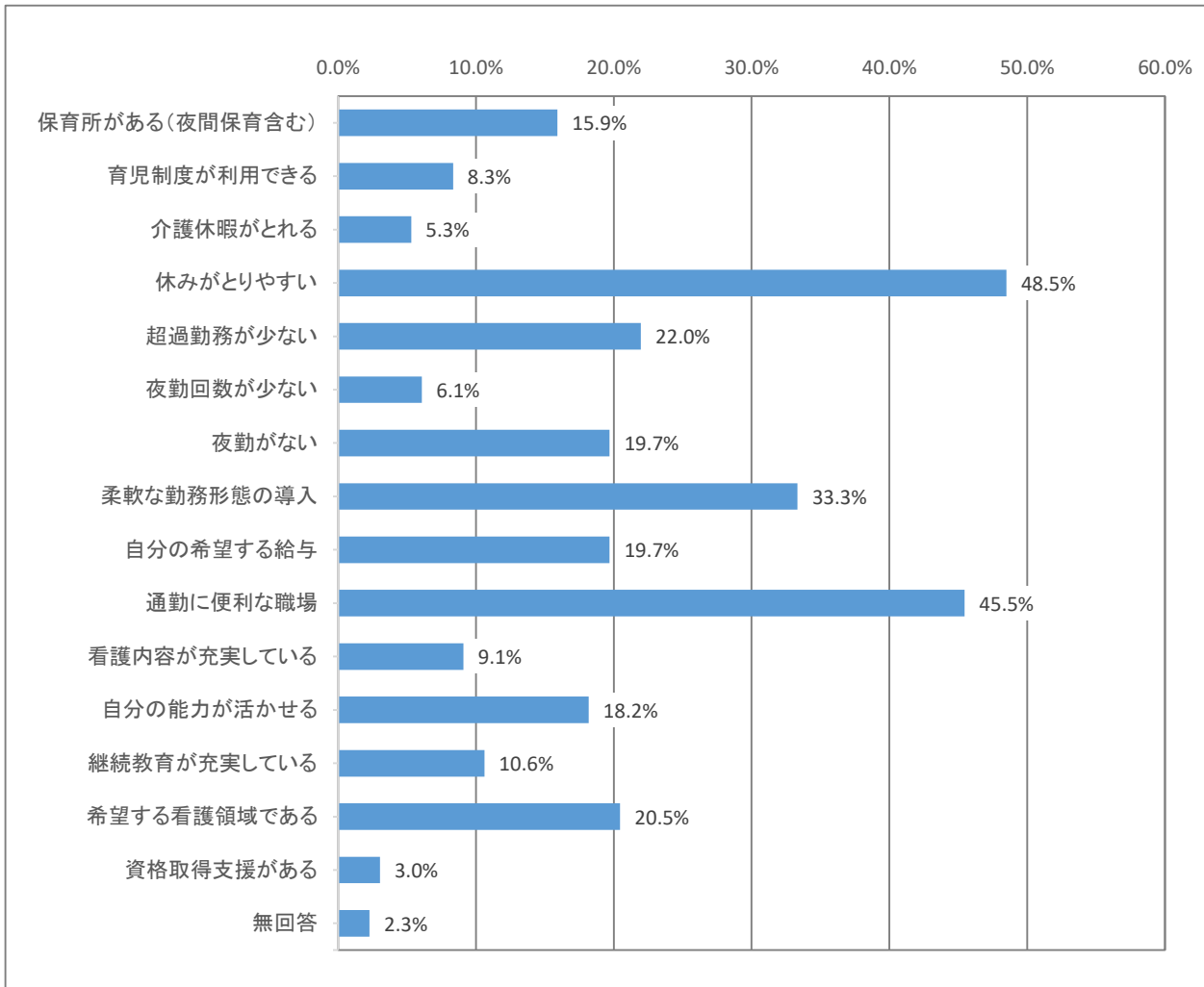
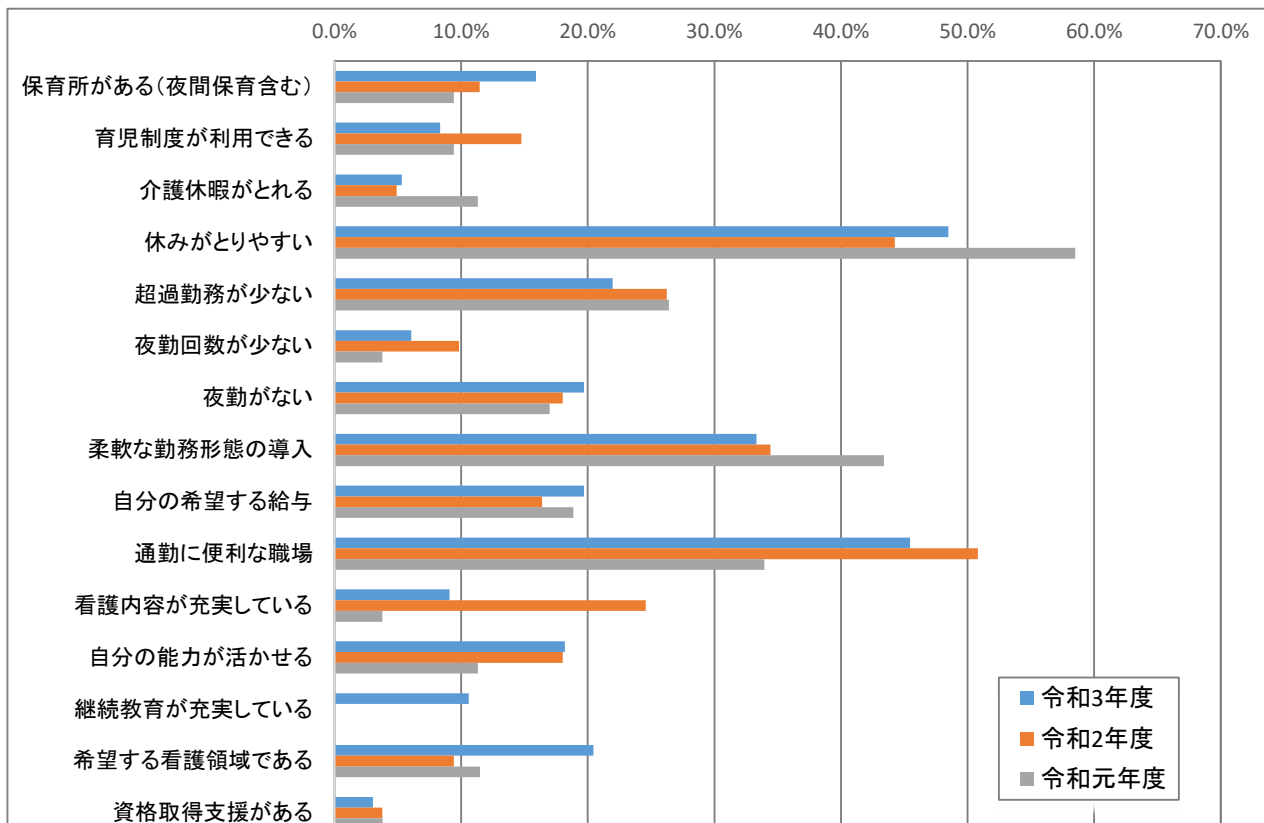


図11 就業条件



無回答



図12 就業条件(3年推移)